



東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL : http://www.asachu-rc.jp

2011 - 2012 年度テーマ

R.I. テーマ	「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」	R.I. 会長	Kalyan Banerjee
2580 地区テーマ	「簡素にして充実」	地区ガバナー	水野 正人
クラブテーマ	「質素にして充実」	クラブ会長	海内 栄一



本日の卓話

上半期事業報告

今後の卓話予定

1/25 「ロータリー理解推進月間にちなんで」
地区ロータリー研修委員長 東京上野 RC 大野 利美知様

2012年 1月 18日

第 1251 回例会

会長 海内 栄一
幹事 藤掛 靖元



年間100%出席

片岡 邦夫君 5回

前回 (1/11 1250 回例会) の記録

来訪者紹介

◆ゲスト 0名
◆ビジター 0名

出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
44名	0名	3名	36名	5名	87.80%	1248 例会修正 欠席4名・出席率90%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

会長報告 <海内会長>

皆さん明けましておめでとうございます。

毎年1月はロータリー理解推進月間です。ガバナー月信に戸田一誠 PG の文章が掲載されています。是非 WEB ページにアクセスしてください。

暮正月はいかがお過ごしなされましたか。ご旅行などなさった方も多くいらっしゃるのではないかと思います。私の場合は、今年は越年仕事が多く、20名ほどの社員がお客さんでの現場仕事を行っていた関係上自宅待機を余儀なくさせられていました。

毎日くまなく新聞を読んでいると、1月7日の朝日新聞に古時計を囲むような構図でロータリークラブのマークが掲載されている写真が見受け

られました。記事を読んでもみますと、浅草ロータリークラブの姉妹クラブの山田ロータリークラブの「鎮魂の鐘」着工の記事でありました。山田ロータリークラブは岩手県山田町にありますが、国内外のロータリークラブからの募金約1000万円で計画されたそうです。記事中の写真は JR 陸中山田駅の駅舎屋上で津波をかぶり、午後3時27分をさしたまま止まった直径1.5mの大時計で、かつて山田ロータリークラブが寄贈したものでありました。

山田ロータリークラブの阿部会長は「県内外からたくさんの方が鐘をつきにきてほしい」と語っていらっしゃるそうです。

機会があれば是非お伺いして鎮魂の鐘をつきたいと思います。

幹事報告<藤掛幹事>

- ・本日例会終了後第7回理事役員会を開催いたします。理事・役員の方々の出席をお願いいたします。
- ・次回例会に於いて上半期事業報告を致します。まだ上半期事業報告をお出しになっていない委員長の方々は至急ご提出ください。欠席される場合は必ず副委員長か代理の方

をお願いいたします。

- ・加藤元会員から再入会の申し出がございました。その件につきましては、昨年末WEB理事会により全員異議なしとの事で入会審査を開始致します。皆様のポケットに加藤さんの資料が入っておりますのでよろしく願いいたします。

2011年~2012年度 第7回理事・役員会報告

<審議事項>

1. 12月度会計報告……………承認
2. 加藤元会員再入会の件……………
 - ・次週例会までに異議がなければ自動的に承認する。

<協議事項>

1. 3クラブ合同ゴルフ対抗戦開催の件……………
 - ・他クラブからの開催の申し出があれば了解する。

<報告事項>

1. 3クラブ合同例会の件……………
 - ・当クラブが幹事であった2008/2009年度に行われた3クラブ合同例会の形式を踏襲する。
 - ・2月1日の例会に於いてその詳細の説明を行う。
2. 「東日本大震災復興支援特別委員会」メンバー構成の件……………
 - ・次回理事会にて報告する。

ニコニコボックス

<岩戸、長堀、吉田、大塚、宮村、馬場、小池、中村、井田、伊石、永井、海内、上野、藤掛、矢野、松崎>

- ・あけまして おめでとう ございます
2012. 01. 11

<岩戸、長堀、原田、長沼、古谷、小林(雅)、田村、上原、井田、中村、伊石、永井、松崎、海内、上野、植木、長島、尾泉、藤掛、矢野>

- ・天笠さん、藤野さん、ご復帰おめでとうございます



天笠さん

<松本>

- ・お誕生日のお祝いをして戴き、有難うございました。

<太田>

- ・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。

<古谷>

- ・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。後2年で40周年となります。捨てられない様十分気をつけて頑張ります。

<被災地視察会参加者一同>

- ・昨年11月26・27日に実施しました、被災地

現状視察会の残金をニコニコします。引き続き復興支援活動に尽力していく所存です。

<太田>

- ・東日本大震災 頑張ろう 東日本!
立ち上がれ 日本!

新年 歌うニコニコ 第一弾 イングリッシュ歌謡「会長よ」

♪会長になる日が 来なけりゃいと
ロータリアンなら 誰でも思う
早いもんだネ 半期もすぎて
今日は日出度い 新年初例会
会長業務は 多忙だけれど
後期半年 我が道を行く

♪top に become する日が should not come と
rotarian is anyone so think
time flays like an arrow
today happy newyear meeting
secretary works very very busy
last falf a year going my way

作詞・歌唱 笹生淡水

海内会長



1. 暮正月は自宅待機
2. 新聞を隅々までよく読みました。
3. 2011 重大ニュース（10大ニュース）から
・新聞社によって微妙に論調が違う

- ・どこも東日本大震災がトップ、M9.0、死者行方不明2万人、避難者33.5万人、自衛隊のべ10万人、米軍24,500人
- ・第二位はレベル7に達した福島原発事故
- ・第三位は首相交代、二年で3人、野田首相
- ・第四位は「なでしこジャパン」の世界一
- ・第五位以降は新聞によって異なる

円高で10月末に1ドル＝75円32銭とする社

スカイツリー634mに到達とする社などがあるが順位が違って

ノミネートされているのは、地デジ移行、大阪W選挙、計画停電と節電

大相撲の八百長発覚で春場所中止、九電のやらせメールなど。

大変な一年であったことがしみじみ感じさせられた。

4. 新年になると朝日新聞で衝撃的な連載のプロメテウスの罫の欄で「官邸の五日間」が始まりました。

これは大震災の後の原発事故の五日間の官邸での出来事を数々の証言を元に構成されたものです。その中で、水蒸気爆発による恐怖に駆られた東電幹部が現場撤退すなわち現場を放り投げて逃亡することの許しを官邸に依頼したことに、断固として許すことはできない、このままでは「東日本は壊滅する」「日本が沈没する」「外敵の侵略があったら守りきれない」といって東電をしかりつけたのが菅総理だったことが何人もの証言から明らかにされており、少し当時のマスコミ論調が偏向していたのではないかと思いました。

5. ついでですが、スカイツリーは下総の国にあるにも拘わらず、ムサシ（634）として634mという理由付けはおかしいのではないのでしょうか。

6. また、年明けには暇に任せたわけではないのですがロータリーの今年度のRIテーマや地区ガバナー年度テーマをじっくり考えなおしてみました。

そこで気がついたことです。

残念なことです、R I 会長カルヤン・バネルジー、第 2580 地区ガバナー水野正人の年度テーマには職業奉仕、職業倫理について触れた部分が全く無いこと。特に R I 会長にいたっては、家族、継続、変化を基調とする世界理解と平和追求にのみ言及。まるでロータリーはロータリー財団活動こそ第一義的に重要であるかのごとくでありました。確かにロータリー財団活動は R I の活動としては根幹となすものかもしれませんが。しかし、この活動自体はクラブ奉仕、職業奉仕といったクラブにおける根幹事業から派生したものでロータリーの理念が世界理解と平和の追求といった拡がりを持ったところから生まれたものであります。

社会奉仕とそのまた派生物ある国際奉仕は巨大化した R I 機構や財団がその組織的存在をかけて取り組んでいるものであり、各ロータリークラブの活動とは金銭でしか繋がっていないところに問題があるわけです。

他の奉仕クラブ・団体と R C が大きく異なるところ、それこそが「職業奉仕」です。得た利益のうち幾らかを社会的慈善活動に役立てることを中心に考え活動するのではなく、いかなる考え方・方法によって利益を生み出すかを中心に活動するのがロータリーでは大切であるということです。

職業倫理という言葉でよく表されますが、これと職業奉仕とはちょっと違います。如何に倫理的に事業展開するかというだけでなく、如何にこの事業が社会に役立つかあるいは私達の事業をいかに社会の役に立つものにするかをクラブ活動を通して実践しているのが R C 職業奉仕です。

したがって、職業倫理は職業奉仕の一部であり、社会とのかかわりの中で自らの職業の価値を創造すること、高めることといった活動があってこそ本当の職業奉仕といえるのです。

だからこそ、社会奉仕は職業奉仕から派生することが必然的だったわけであり、言葉を変えていけば社会奉仕も職業奉仕を補完するものといえるわけです。

7. 話は突然変わりますが、昨年の東北被災地視察によって判った事のひとつに、マスコミ報道のあまりの偏りといったことがあります。

報道番組に良く出てくるシーンに瓦礫の山を一生懸命片付けている重機や、ボランティア活動の人々の映像や山の上に建てられた被災者の仮設住宅がありますが、これらは嘘とはいいませんが、決して全地域がこんな状況では無いわけであり、

瓦礫の山のほとんどは、場所を移しているだけだし、仮設住宅のほとんどはむしろ平地にあって国道沿いに延々と並び建っているものだし、マスコミに出ない真に深刻なのはボランティアも来ないし電気も無く閑散として人影が全く無く、たいした破損が無いのに佇んでいる住宅街です。忘れ去られた街こそ象徴といえます。

マスコミは限られた紙面、映像時間で活動します。したがって象徴的で劇的な場面や

事件を大きく取り上げざるを得ないといった宿命を持っています。

このことを判った上でマスコミ報道と対峙してゆかねばならないと強く感じました。

8. さて今年度もあと半年となりました。

残る重点事業としては、近くは3クラブ合同例会があります。

また被災地支援特別委員会もようやく立ち上がります。

歩道環境調査事業も報告・提言書の作成の段階です。

残るは増強となります。新年早々天笠さんの再入会となり、加藤さんの再入会審査も開始となりました。

今年度は新入会者も再入会者も同じ入会審査を行っています。これは無駄なようですが、後々不測の齟齬が生じることが無いように平等に扱うべきと考えたからです。

9. 本年は3月に三社祭催行700年記念として盛大に舟渡御が行われます。

残る半年間の活動もぜひともご協力いただきたくお願いして年頭のご挨拶とさせていただきます。

藤掛幹事



新年明けましておめでとうございます。

下半期に入ってまいりました。上半期同様、皆様のご協力の基に進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

天笠さんが再入会されました。そして加藤さんも本日ポケットにご案内を入れましたが今再入会の手続きを進めております。

そして、昨年は休会された大塚さん、藤野さんが無事復帰を致しました。出戻り第一号の私といましては本当にうれしい限りです。すごいなと思うのは、皆さん自ら戻られている。私は、協力に再入会を勧める方がいまして、それで戻ったのですが、受け入れてくれるのかな、という自分の中での抵抗です。でも、このように再び受け入れて頂き、幹事までやらせてもらっている。本当にありがたいなと思います。辞めた方でも暖かく迎えてくれる雰囲気は是非大切にしていきたいと思います。

これは増強につながる事ですが、退会しても私のようにプッシュの仕方によっては戻ってしまう方もいます。退会した方にお近い方はその方が再入会する、しないに関わらず常日頃お声をかけることを心がけることが大切、ということを改めて感じます。それが結果として将来の再入会につながる事になるのではないのでしょうか。

ロータリークラブは心のオアシスと言えます。常に「心温まるクラブ」を念頭に置いてクラブ運営に当たって行きたいと思います。